

さっぽろのまちづくりにみんなの声を届けよう!

第22号
令和2年3月発行



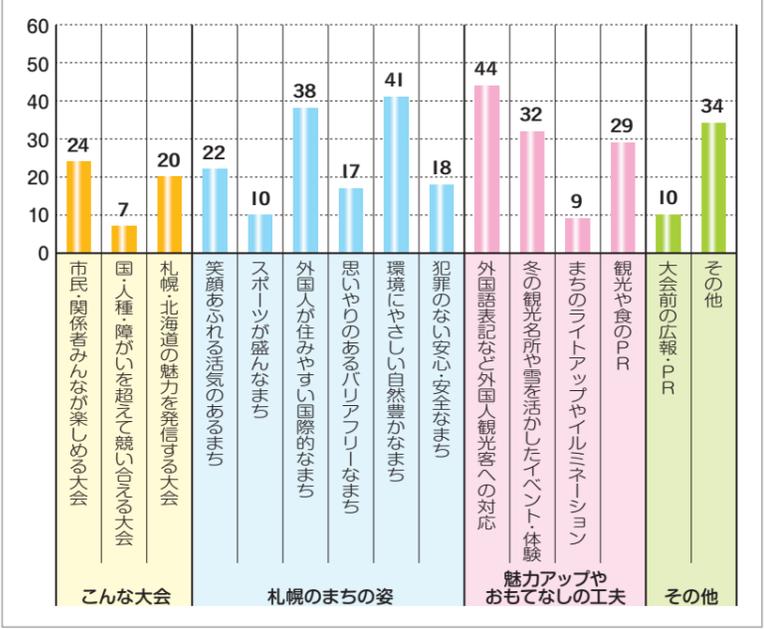
子ども通信

この通信では、「子どもの権利」に関するさまざまな取組をお知らせします。

札幌市役所では、さまざまな場面で子どもが意見を言う機会をつくり、子どもの視点を活かすよう取り組んでいます。今回は、子どもたちの声を札幌のまちづくりに届ける取組として実施している「子どもの提案・意見募集ハガキ」について紹介します。

子どもの提案・意見募集ハガキ

今回のテーマは、「冬季オリンピック・パラリンピック招致」と子どもアシストセンターの周知。子どもたちから提案や意見を募集するため、返信用ハガキ付きの用紙を市内の学校などに配ったところ、11月〜12月の期間で合計267名の子どもたちから意見が寄せられました。



冬季オリンピック・パラリンピック 招致
232票
353票

例えばこんな意見

- オリンピック・パラリンピックに関わるすべての人が楽しめる大会にできたらいい。
- みんなが尊重し合って、人種や障がいなどに関係なく、楽しく全力で試合にのぞめる大会になってほしい。
- 市民がオリンピック・パラリンピックで行われたスポーツを好きになって、スポーツが盛んなまちになるといい。
- 札幌は犯罪もないし、環境もよいと胸を張って言えるようになりたいなまちになってほしい。
- 外国語の看板を増やしたり、外国語を話せるスタッフが增えたら、外国からの観光客がもっと楽しめると思う。
- 暖かい国の人たちに、スポーツ以外にも雪を使って気軽に楽しめることがたくさんあることを知ってほしい。
- 2030年よりもっと前から、オリンピックについて話し合っただけで、たくさんの人に興味をもってもらいたい。

札幌市の考え方

冬季オリンピック・パラリンピックについて多くの意見を寄せていただき、ありがとうございます。

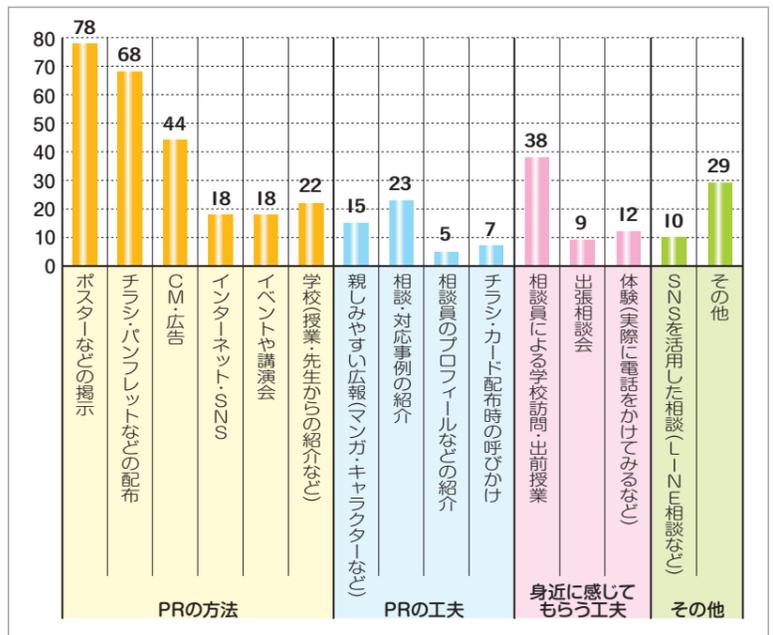
冬季オリンピック・パラリンピックは、選手たちの活躍などを通じて私たちに夢や希望、感動を与えてくれます。また将来の札幌のまちを発展させ、私たちの暮らしをより豊かにするきっかけにもなります。札幌市では、そのよつに考えて、招致を進めています。

今回、2030年にこのまちの主要になるみなさんに、どんな大会になったらいいか、札幌がどんなまちになっていくのかについて意見をいただきました。外国語表記などによる外国人が住みやすい国際的なまちや、環境にやさしい自然豊かなまちへの期待が多かったほか、まちの魅力発信についてのさまざまなアイデアもありました。いただいた意見を参考に、案内表示を増やしたり、新しい技術を取り入れたりして、大会をきっかけに、国や人種、障がいの有無などにかかわらずすべての人が暮らしやすく、環境にやさしいまちを目指していきます。

たくさんのご意見、本当にありがとうございました。

子どもアシストセンターの周知

237票
396票



例えばこんな意見

- チラシは、学校の目立つところに貼った方がいい。カーブは、配られるときに説明があるといい。
- こんなときに相談してほしいところを、分かりやすくアニメなどを使って紹介する。
- 相談することに抵抗がある人もいますので、チラシなどに、相談のイメージや相談員のコメントをのせる。
- 配布されるチラシに、実際に相談した人の感想などがあると、もっと安心して相談できる人が増えると思う。
- 相談員が定期的に学校などに行つて、子どもアシストセンターについて教えてあげると身近になると思う。
- いざというときに相談できるように、学校の授業などで実際に電話したりメールしたりする体験をする。
- メールや電話だけでなく、LINEなどの身近なSNSの方が相談しやすい。



子どもにとって大切な権利

- ・安心して生きる
- ・自分らしく生きる
- ・豊かに育つ
- ・参加する



札幌市子ども未来局子どもの権利推進課
〒060-0051
札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館3階
☎011(211)2942 FAX(211)2943
✉ kodomo.kentri@city.sapporo.jp

マスコットキャラクター ハッピー



友達のこと、学校のこと、おうちのこと...

困ったときは、ひとりで悩まないで相談してね!

札幌市子どもの権利救済機関 子どもアシストセンター

電話《子ども専用》0120-66-3783【無料】
《大人用》011-211-3783

メール assist@city.sapporo.jp

面談 中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館6階

【相談できる時間】※日曜日・祝日・年末年始はお休み

月～金 10:00～20:00

土 10:00～15:00(4月以降) 10:00～16:00

札幌市の考え方
子どもアシストセンターが、札幌の子どもにとってもっと身近な相談機関になるためには、こんなことが必要か、という点について、たくさんの方のアイデアをありがとうございます。

みなさんから多くの意見が寄せられた「ポスターの掲示」や「チラシ等の配布」については、これまでも地下鉄駅構内にポスターを掲示したり、チラシやカードを配布したりしていますが、みなさんにもっと子どもアシストセンターを知ってもらえるよう、今後取組を充実させていきたいと思えます。

また、このようにことを相談できるか、などについて「学校で出前授業を行いPRする」という声もありました。子どもアシストセンターをもっと身近に感じてもらえるよう、みなさんの元へ直接出向くような取組についても、いただいた意見をもとに検討していきたいと考えています。

みなさんからいただいた意見を参考にしながら、子どもアシストセンターがもっと子どもにとって身近な相談先になれるよう、さまざまな取組を進めていきます。